



# MYLITTLEADMIN FOR SQL SERVER 2005

## QUICK START GUIDE

VERSION 3.1

(クイックスタートガイド 日本語翻訳版)

---

## CONTENT

1	概要 .....	3
2	このガイドの内容 .....	3
3	インストールと設定 .....	3
4	基本操作 .....	4
4.1.	接続	4
4.2.	メイン画面	5
4.3.	ナビゲーションバー(画面右側フレーム)	5
4.4.	コンテンツゾーン(画面左側フレーム)	6
4.5.	コンテキストメニュー	7
4.6.	操作手順実例	7
5	オブジェクトの作成 .....	9
5.1.	テーブルを作成する	9
5.2.	テーブル間にリレーションシップを作成する	10
5.3.	テーブルデータの表示と編集	11
6	ツールとウィザード .....	13
6.1.	新しいクエリ	13
6.2.	INSERT スクリプト作成	14
6.3.	CSV インポートウィザード	16
6.4.	バックアップウィザード	17
6.5.	復元ウィザード	18
6.6.	バックアップウィザード(ホスティング向け)	19
6.7.	復元ウィザード(ホスティング向け)	21
6.8.	デタッチウィザード	22
6.9.	アタッチウィザード	23
6.10.	データベース圧縮	24
6.11.	パスワード変更	25

## 1 概要

myLittleAdmin for SQL Server 2005 クイックスタートガイドへようこそ。  
myLittleAdmin for SQL Server 2005 は Web ベースの MS SQL 2005 データベース管理ツールです。グラフィカルインターフェイスを利用しブラウザ経由でのデータベース管理が可能になります。

## 2 このガイドの内容

**基本操作:** この章では、myLittleAdmin for SQL Server 2005 の基本的な操作方法を説明します。データベースのオブジェクトとプロパティの表示方法や、いくつかの簡単なアクションについて書かれています。

**オブジェクトの作成:** テーブル作成手順、外部キーによるリレーションシップの作成手順などがあります。

**ツールとウィザード:** myLittleAdmin for SQL Server 2005 に実装されている機能的なツールやウィザードなどの操作手順があります。

## 3 インストールと設定

myLittleAdmin for SQL Server 2005 のインストールと設定については、別紙：**myLittleAdmin for SQL Server 2005 Installtion Guide** (インストールガイド) を参照してください。このガイドはソフトウェアパッケージに PDF 形式ファイルで同梱されています。また myLittleTools 社のサイトからもダウンロードできます。

## 4 基本操作

### 4.1. 接続



myLittleAdmin for SQL Server 2005 へ接続する時、2つの認証モードを選択することができます。myLittleAdmin は Web ベースのアプリケーションなので、IIS で anonymous ログオンが許可されていない場合のみ **【Windows 認証モード】**を使用します。ほとんどの場合は **【SQL Server 認証モード】** が使用されます。

**サーバー名**：接続するサーバーの名前(またはインスタンス名)をプルダウンメニューから選択します。サーバー名¥インスタンス名、サーバー名のみ、または IP アドレスなどの形式があります。接続先が1つの場合、選択できない事もあります(画像参照)。

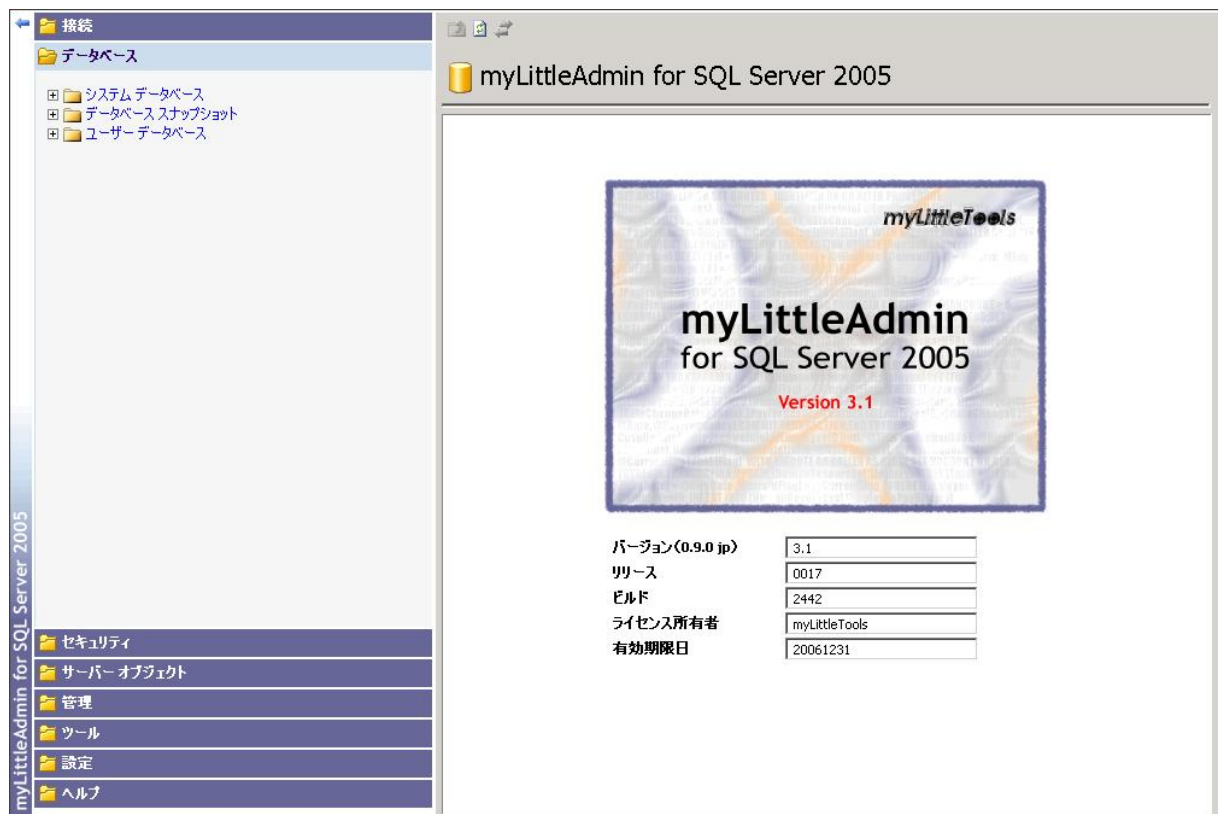
**認証**：多くの場合 **【SQL Server 認証モード】** を使用します。

**ユーザー名**：ログインに使用するユーザー名。このオプションは、認証モードに SQL Server 認証モードを使用した場合のみ必要になります。

**パスワード**：ログインに使用するパスワードを入力します。


接続プロパティを表示するには、**【オプション>>】** ボタンをクリックします。

## 4.2. メイン画面



メイン画面は2つのフレームに別れています:

- ➔ 左側 ナビゲーションバー と呼びます
- ➔ 右側 コンテントゾーン と呼びます

**Tips:** ナビゲーションバーは、 ボタン(画面左上)を使用して、表示または非表示の操作が可能です。

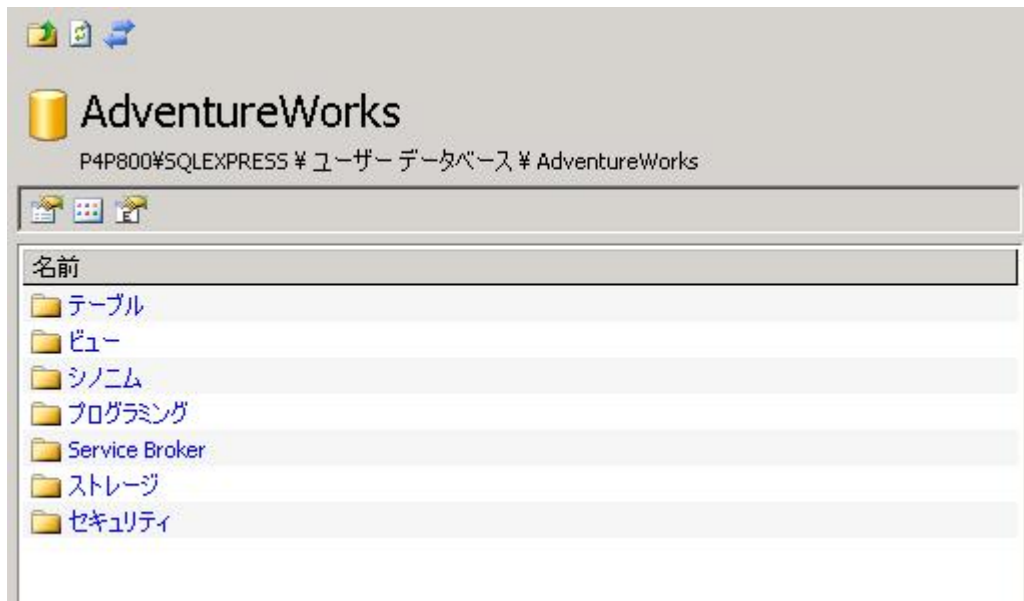
## 4.3. ナビゲーションバー (画面左側フレーム)

ナビゲーションバーにはいくつかのセクションがあります:




- ➔ **接続:** 接続情報の表示、接続切断操作が可能です。
- ➔ **データベース:** このセクションは myLittleAdmin のメインセクションです。このツリーから、データベースのすべてのオブジェクトを操作可能です(システムデータベースやスナップショットデータベースなども含む)。
- ➔ **セキュリティ:** セキュリティオブジェクト(ログイン、サーバーロール、資格情報など)があります。
- ➔ **サーバーオブジェクト:** サーバーオブジェクトがあります。
- ➔ **管理:** サーバーアクティビティの確認、エラーログの表示が可能です。

- ➔ **ツール:** myLittleAdmin に実装された多機能なツールやウィザードなどの操作が可能。
- ➔ **設定:** 表示言語、スキン、その他表示オプションの設定変更が可能。
- ➔ **ヘルプ:** myLittleAdmin コミュニティフォーラムへのリンク、テクニカルサポートへのメールでの問合せなどが可能。

#### 4.4. コンテントゾーン(画面右側フレーム)



コンテントゾーンには 4 つのゾーンがあります:

- ➔ **操作アイコン:**  アイコンをクリックすると 1 レベル上へ移動します。  アイコンをクリックすると表示ページが更新されます。  アイコンはナビゲーションバーとコンテントゾーンを同期する場合にクリックします。
- ➔ **オブジェクト情報:** このゾーンはオブジェクト名とそのパスを表示します。
- ➔ **アクションアイコン:** オブジェクトタイプによりいくつかのアイコンが表示されます。
- ➔ **コンテンツ:** リストやフォームなどが表示されます。

## 4.5. コンテキストメニュー

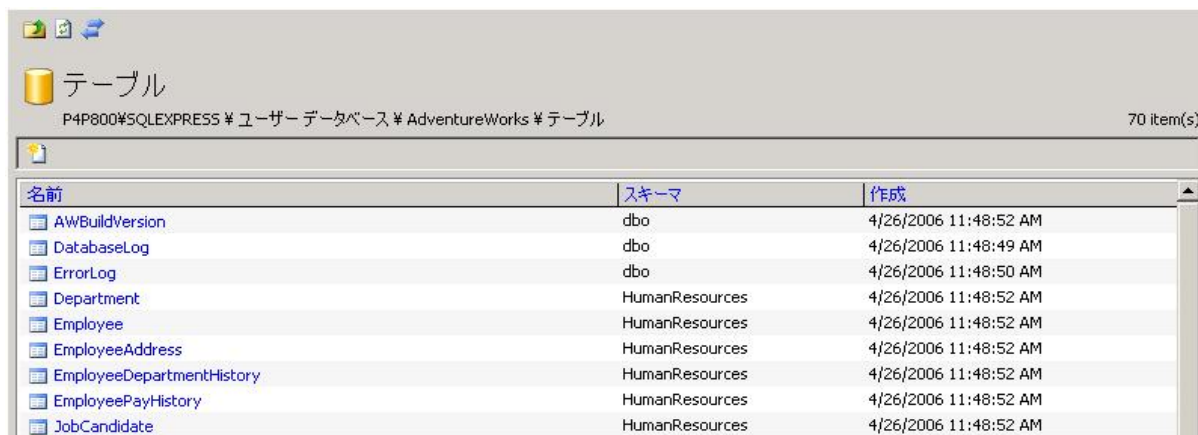


コンテキストゾーンにオブジェクトのリストが表示された状態でオブジェクト名をクリックすると、コンテキストメニューを開くことができます。メニューに表示されるアイテムはオブジェクトタイプにより異なります。




## 4.6. 操作手順実例

データベース名 **AdventureWorks** のテーブルリストを表示する手順:

1. ナビゲーションバー(左フレーム)から **[データベース]/[ユーザーデータベース]** をクリックします。コンテンツゾーン(右フレーム)にデータベースリストが表示されます。
2. コンテンツゾーンで、**[AdventureWorks]** をクリックします。コンテキストメニューが表示されます。
3. コンテキストメニューから **[詳細]** をクリックします。データベースオブジェクトグループのリストが表示されます。
4. コンテンツゾーンの **[テーブル]** をクリックします。データベースのテーブルリストが表示されます。



他の方法として、ツリービューから直接リストの表示ができます。

1. ナビゲーションバーの【ユーザーデータベース】の左にある  アイコンをクリックします。ツリービューが展開されデータベースのリストが表示されます。
2. ナビゲーションバーの【AdventureWorks】データベース左の  アイコンをクリックします。ツリービューが再び展開され、オブジェクトグループリストが表示されます。
3. ナビゲーションバーの【テーブル】リンク左にある  アイコンをクリックします。ツリービューが展開され、テーブルリストがナビゲーションバー内に表示されます。




**Tips:** アクセス可能なデータベースのみ一覧表示されます。

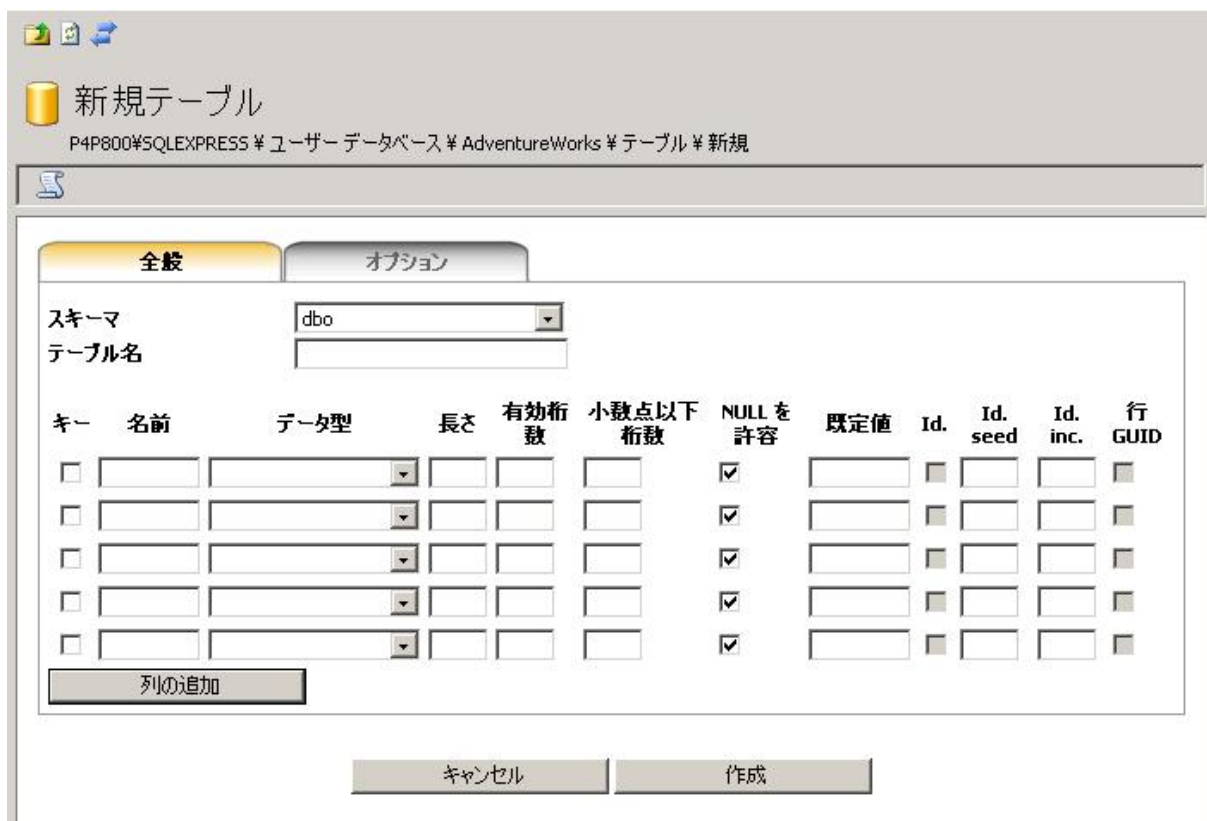


## 5 オブジェクトの作成

### 5.1. テーブルを作成する

簡単な操作でテーブルを作成することができます。

1. 作業対象データベースのテーブルリストを表示します。  
(表示方法は 4.6 操作手順実例を参照してください)
2.  アイコンをクリックします。テーブル作成フォームが表示されます。



新規テーブル

P4P800¥SQLEXPRESS ¥ ユーザー データベース ¥ AdventureWorks ¥ テーブル ¥ 新規

全般 オプション

スキーマ: dbo


テーブル名:

キー	名前	データ型	長さ	有効桁数	小数点以下桁数	NULLを許容	既定値	Id.	Id. seed	Id. inc.	行GUID
<input type="checkbox"/>						<input checked="" type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>						<input checked="" type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>						<input checked="" type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>						<input checked="" type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>						<input checked="" type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>


列の追加

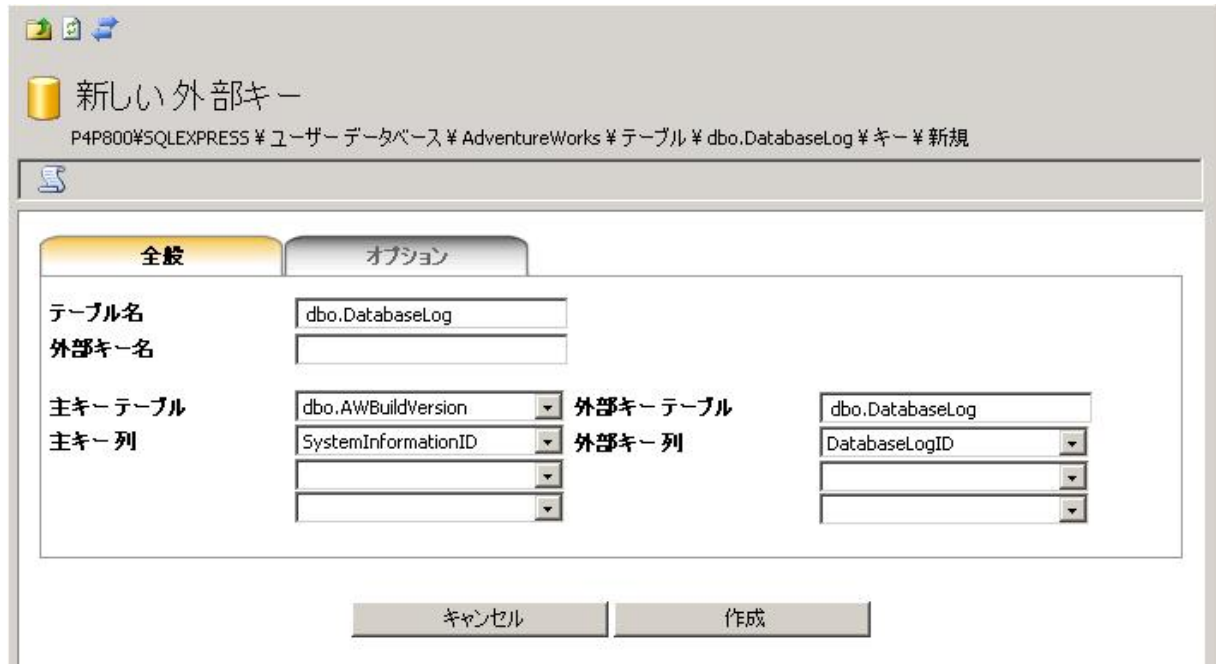
キャンセル 作成

- ➡ 作成テーブルの属する **【スキーマ】** を選択します。デフォルト値は dbo になっています。
- ➡ 作成テーブルの **【テーブル名】** を入力します。
- ➡ 作成テーブルの**カラム**を定義します。**【キー】** ボックスにチェックを入れた場合このカラムはプライマリキーの一部になります。それぞれのカラムでは **【名前】** と **【データ型】** を必ず入力しなければなりません。
- ➡ 入力終了後、**【作成】** ボタンをクリックします。

**Tips:**  アイコンをクリックすると、テーブル作成のため Transact SQL script が表示されます。

## 5.2. テーブル間にリレーションシップを作成する

1. 作業対象テーブルのツリービューを展開します。
2. コンテントゾーンの【キー】をクリックします。
3.  のアイコンをクリックします。リレーションシップ(外部キー)作成フォームが表示されます。



新しい外部キー

P4P800¥SQLEXPRESS ¥ ユーザー データベース ¥ AdventureWorks ¥ テーブル ¥ dbo.DatabaseLog ¥ キー ¥ 新規

全般 オプション

テーブル名: dbo.DatabaseLog


外部キー名:

主キーテーブル: dbo.AWBuildVersion 外部キーテーブル: dbo.DatabaseLog

主キー列: SystemInformationID 外部キー列: DatabaseLogID

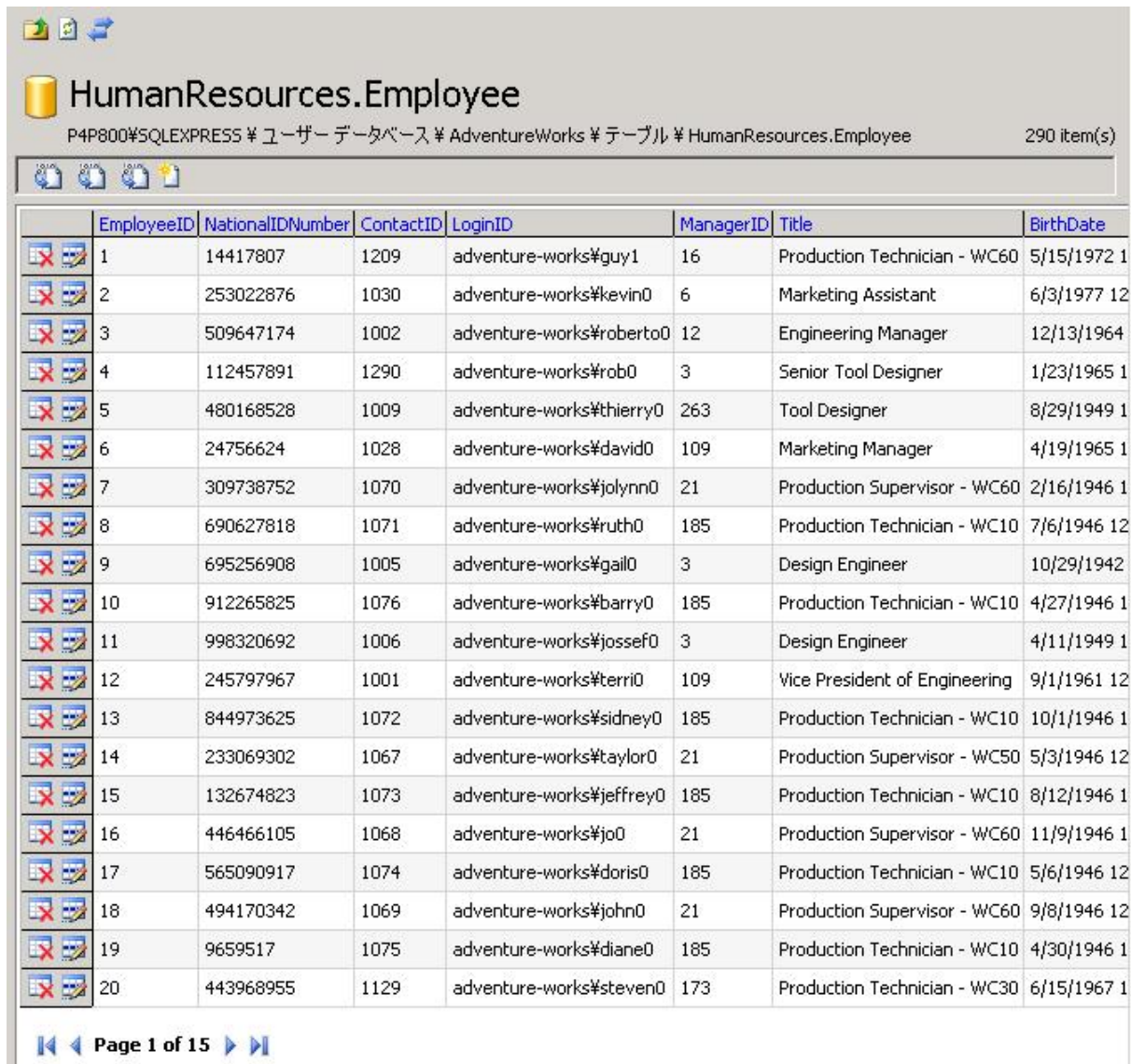
キャンセル 作成

- ➔ 【外部キー名】を入力します。
- ➔ 【主キーテーブル】を選択します。
- ➔ リレーションシップ設定に使用する【主キー列】を選択します。
- ➔ 次にリレーションシップに使用する【外部キー列】を選択します。
- ➔ 【作成】ボタンをクリックします。

**Tips:** コンテントゾーンの【キー】リスト表示で  アイコンをクリックすると、テーブルの主キーの設定や編集が可能です。

### 5.3. テーブルデータの表示と編集

1. テーブルリストを表示します (表示方法は 4.6 操作手順実例を参照してください)。
2. 表示または編集するテーブルをクリックします。
3. コンテキストメニューで、**[テーブルを開く]** をクリックします。





HumanResources.Employee  
P4P800¥SQLEXPRESS ¥ ユーザー データベース ¥ AdventureWorks ¥ テーブル ¥ HumanResources.Employee 290 item(s)


	EmployeeID	NationalIDNumber	ContactID	LoginID	ManagerID	Title	BirthDate
	1	14417807	1209	adventure-works#guy1	16	Production Technician - WC60	5/15/1972 1
	2	253022876	1030	adventure-works#kevin0	6	Marketing Assistant	6/3/1977 12
	3	509647174	1002	adventure-works#roberto0	12	Engineering Manager	12/13/1964
	4	112457891	1290	adventure-works#rob0	3	Senior Tool Designer	1/23/1965 1
	5	480168528	1009	adventure-works#thierry0	263	Tool Designer	8/29/1949 1
	6	24756624	1028	adventure-works#david0	109	Marketing Manager	4/19/1965 1
	7	309738752	1070	adventure-works#jollynn0	21	Production Supervisor - WC60	2/16/1946 1
	8	690627818	1071	adventure-works#ruth0	185	Production Technician - WC10	7/6/1946 12
	9	695256908	1005	adventure-works#gail0	3	Design Engineer	10/29/1942
	10	912265825	1076	adventure-works#barry0	185	Production Technician - WC10	4/27/1946 1
	11	998320692	1006	adventure-works#jossef0	3	Design Engineer	4/11/1949 1
	12	245797967	1001	adventure-works#terri0	109	Vice President of Engineering	9/1/1961 12
	13	844973625	1072	adventure-works#sidney0	185	Production Technician - WC10	10/1/1946 1
	14	233069302	1067	adventure-works#taylor0	21	Production Supervisor - WC50	5/3/1946 12
	15	132674823	1073	adventure-works#jeffrey0	185	Production Technician - WC10	8/12/1946 1
	16	446466105	1068	adventure-works#jo0	21	Production Supervisor - WC60	11/9/1946 1
	17	565090917	1074	adventure-works#doris0	185	Production Technician - WC10	5/6/1946 12
	18	494170342	1069	adventure-works#john0	21	Production Supervisor - WC60	9/8/1946 12
	19	9659517	1075	adventure-works#diane0	185	Production Technician - WC10	4/30/1946 1
	20	443968955	1129	adventure-works#steven0	173	Production Technician - WC30	6/15/1967 1


Page 1 of 15


 アイコンから、テーブルを XML、XLS または CSV 形式でエクスポートできます。

 アイコンから、テーブルに新規レコードを追加できます。

 **Page 1 of 15** アイコンから、コンテンツ内の移動を操作できます。

 アイコンをクリックすると、行を削除できます。

 アイコンをクリックすると、フォーム内のレコードを編集できます。

 **HumanResources.Employee**  
P4P800¥SQLEXPRESS ¥ ユーザー データベース ¥ AdventureWorks ¥ テーブル ¥ HumanResources.Employee

Column	Value
EmployeeID	1
NationalIDNumber	14417807
ContactID	1209
LoginID	adventure-works#guy1
ManagerID	16
Title	Production Technician - WC60
BirthDate	5/15/1972 12:00:00 AM
MaritalStatus	M
Gender	M
HireDate	7/31/1996 12:00:00 AM
SalariedFlag	<input type="checkbox"/>
VacationHours	21
SickLeaveHours	30
CurrentFlag	<input checked="" type="checkbox"/>
rowguid	aae1d04a-c237-4974-b4d5-935247737718
ModifiedDate	7/31/2004 12:00:00 AM

**Tips:** カラムの値はグリッド内で直接編集できます。編集したい値を直接クリックしてください。テキストボックスが表示されるので変更したい値を入力し Enter キーを押します。Esc キーを押すと入力モードはキャンセルされます。

 **HumanResources.Employee**  
P4P800¥SQLEXPRESS ¥ ユーザー データベース ¥ AdventureWorks ¥ テーブル ¥ HumanResources.Employee 290 item(s)

	EmployeeID	NationalIDNumber	ContactID	LoginID	ManagerID	Title	BirthDate
	1	14417807	1209	adventure-works#guy1	16	Production Technician - WC60	5/15/1972
	2	253022876	1030	adventure-works#kevin0	6	Marketing Assistant	6/3/1977 1
	3	509647174	1002	adventure-works#roberto0	12	Engineering Manager	12/13/196
	4	112457891	1200	adventure-works#rob0	3	Senior Tool Designer	1/23/1965


## 6 ツールとウィザード

### 6.1. 新しいクエリ



このツールを使用して、T-SQL ステートメントを実行できます。

1. ステートメントを実行するデータベースを選択します。
2. T-SQL ステートメントを入力します。
3. **【実行】** ボタンをクリックします。

**Tips:** ユーザーのコンピュータにある拡張子 **.sql** のファイルを開くには、 アイコンをクリックします。

結果が **【結果】** タブに表示されます。

また、**【オプション】** タブからオプションが設定できます。

**Tips:** SELECT 文で最初の 50 行のみリターンさせるには、**【オプション】** タブで、**SET ROWCOUNT** の値を 50 にします。

## 6.2. INSERT スクリプト作成

The screenshot shows a window titled "INSERT スクリプト作成" (Create INSERT Script). It has two tabs: "全般" (General) and "オプション" (Options). The "全般" tab is selected. It contains the following fields and options:

- サーバー名 (Server Name): P4P800#SQLEXPRESS
- データベース名 (Database Name): AdventureWorks
- テーブル名 (Table Name): dbo.AWBuildVersion
- 列 (Columns):
  - SystemInformationID
  - Database Version
  - VersionDate
  - ModifiedDate

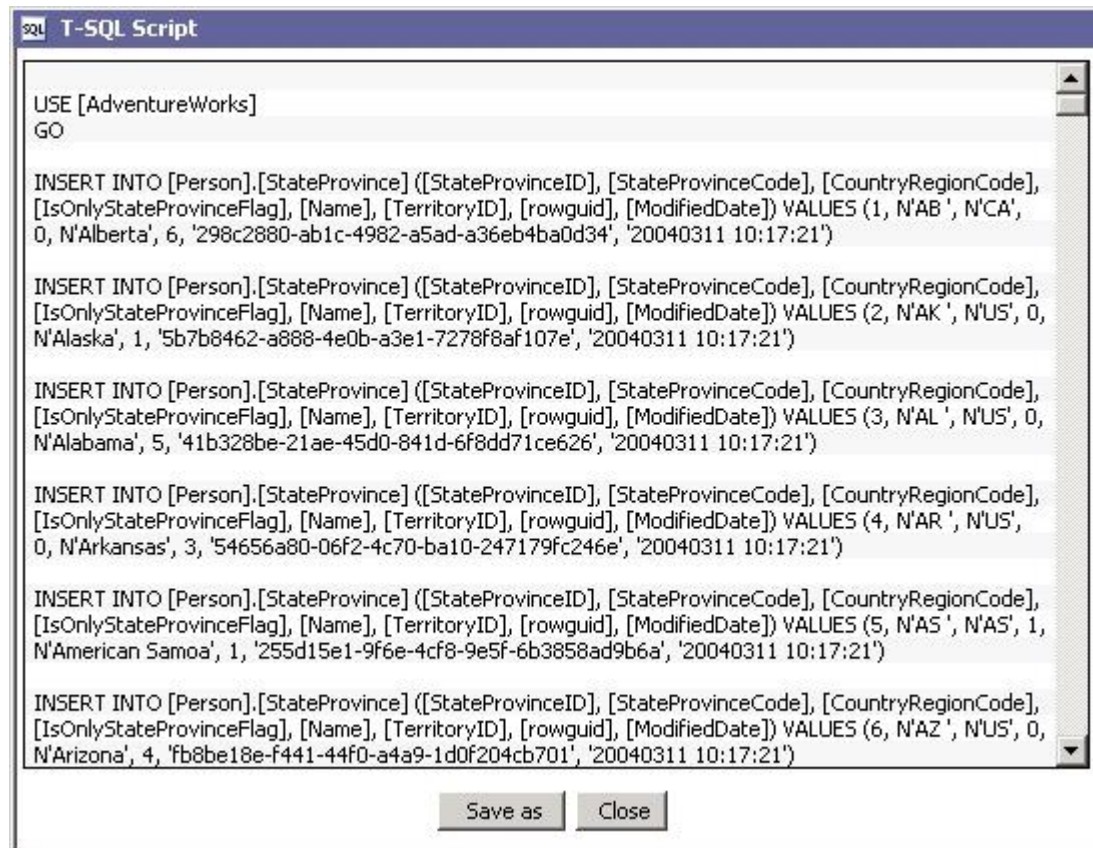
At the bottom of the window, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) and "作成" (Create).

このウィザードで、テーブルコンテンツから INSERT T-SQL スクリプトを作成できます。大量の T-SQL ファイルを処理しなければならない場合便利です。

1. 最初に、テーブルの属するデータベースを選択します。
2. 次に、テーブルを選択します。
3. INSERT 文に 入れるカラムをすべて選択します。
4. **[作成]** ボタンをクリックします。

**Tips:** カラムリストに自動インクリメントのカラムがある場合、オプションタブの **[Identity Insert を有効]** のチェックボックスを選択してください。

作成結果はコピー & ペースト、または .sql ファイルとして保存できます。



```
USE [AdventureWorks]
GO

INSERT INTO [Person].[StateProvince] ([StateProvinceID], [StateProvinceCode], [CountryRegionCode],
[IsOnlyStateProvinceFlag], [Name], [TerritoryID], [rowguid], [ModifiedDate]) VALUES (1, N'AB ', N'CA',
0, N'Alberta', 6, '298c2880-ab1c-4982-a5ad-a36eb4ba0d34', '20040311 10:17:21')

INSERT INTO [Person].[StateProvince] ([StateProvinceID], [StateProvinceCode], [CountryRegionCode],
[IsOnlyStateProvinceFlag], [Name], [TerritoryID], [rowguid], [ModifiedDate]) VALUES (2, N'AK ', N'US', 0,
N'Alaska', 1, '5b7b8462-a888-4e0b-a3e1-7278f8af107e', '20040311 10:17:21')

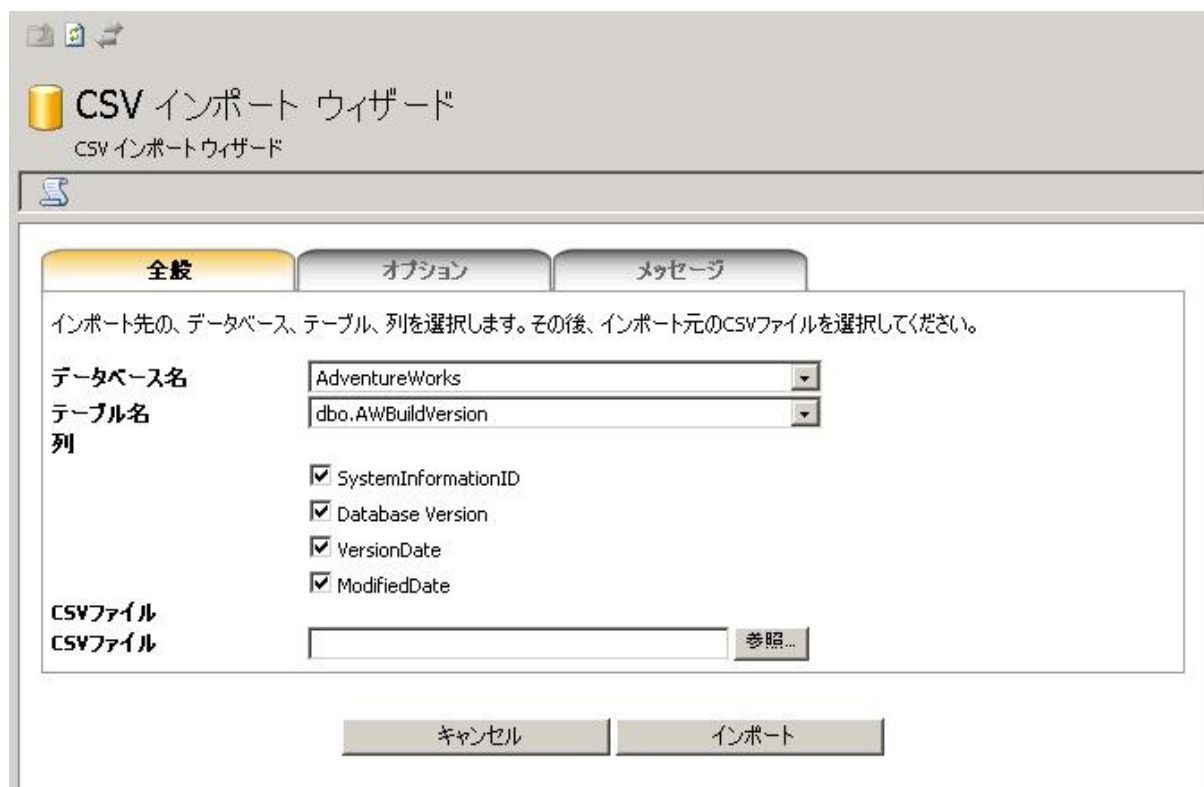
INSERT INTO [Person].[StateProvince] ([StateProvinceID], [StateProvinceCode], [CountryRegionCode],
[IsOnlyStateProvinceFlag], [Name], [TerritoryID], [rowguid], [ModifiedDate]) VALUES (3, N'AL ', N'US', 0,
N'Alabama', 5, '41b328be-21ae-45d0-841d-6f8dd71ce626', '20040311 10:17:21')

INSERT INTO [Person].[StateProvince] ([StateProvinceID], [StateProvinceCode], [CountryRegionCode],
[IsOnlyStateProvinceFlag], [Name], [TerritoryID], [rowguid], [ModifiedDate]) VALUES (4, N'AR ', N'US',
0, N'Arkansas', 3, '54656a80-06f2-4c70-ba10-247179fc246e', '20040311 10:17:21')

INSERT INTO [Person].[StateProvince] ([StateProvinceID], [StateProvinceCode], [CountryRegionCode],
[IsOnlyStateProvinceFlag], [Name], [TerritoryID], [rowguid], [ModifiedDate]) VALUES (5, N'AS ', N'AS', 1,
N'American Samoa', 1, '255d15e1-9f6e-4cf8-9e5f-6b3858ad9b6a', '20040311 10:17:21')

INSERT INTO [Person].[StateProvince] ([StateProvinceID], [StateProvinceCode], [CountryRegionCode],
[IsOnlyStateProvinceFlag], [Name], [TerritoryID], [rowguid], [ModifiedDate]) VALUES (6, N'AZ ', N'US', 0,
N'Arizona', 4, 'fb8be18e-f441-44f0-a4a9-1d0f204cb701', '20040311 10:17:21')
```

### 6.3. CSV インポート ウィザード



このウィザードで CSV データをテーブルにインポートできます。

1. データのインポート先であるデータベース、テーブル、カラムを選択します。
2. インポートする CSV ファイルをあなたのパソコンのローカルディスクから選択します。
3. **[インポート]** ボタンをクリックします。

**Tips:** **[オプション]** タブからカラムセパレータを変更できます。



## 6.4. バックアップ ウィザード

データベース バックアップ  
データベース バックアップ

全般 オプション メッセージ

データベース AdventureWorks

バックアップの種類 完全

バックアップ セット名 AW\_200609\_01

バックアップ セット詳細 September backup

バックアップ セット有効期限 期間指定<日数>

日数: 30

バックアップ先 ファイル

ファイル保存先 d:\#backup\#AW\_200609\_01.bak

キャンセル バックアップ

このウィザードでデータベースのバックアップができます。

- ➔ **データベース:** バックアップするデータベースを選択します。
- ➔ **バックアップの種類:** 実行するバックアップの種類を選択します。
- ➔ **バックアップセット名:** バックアップセット名を入力します。
- ➔ **バックアップセット詳細:** バックアップセットの詳細を入力します。
- ➔ **バックアップセット有効期限:** 有効期間日数または有効期限日を選択します。  
[なし] を選択した場合有効期間(期限)は設定されません。
- ➔ **バックアップ先:** バックアップ先はバックアップデバイスまたは SQL Server からアクセス可能なディスク上のファイルになります。

**注意:** このウィザードを使用するには、ユーザーはサーバーロールの **sysadmin** メンバーであるか、データベースロールの **db\_owner** または **db\_backupoperator** のメンバーでなければなりません。

## 6.5. 復元 ウィザード

データベース復元  
データベース復元

全般 オプション メッセージ

**復元先**  
復元操作を行う新規または既存のデータベースの名前を選択するか、入力します。

データベース AdventureWorks

**復元用のソース**  
復元するバックアップ セットの復元元ファイルと場所を指定します。

バックアップ デバイス

ファイル d:\%backup#AW\_200609\_01.bak

位置 1

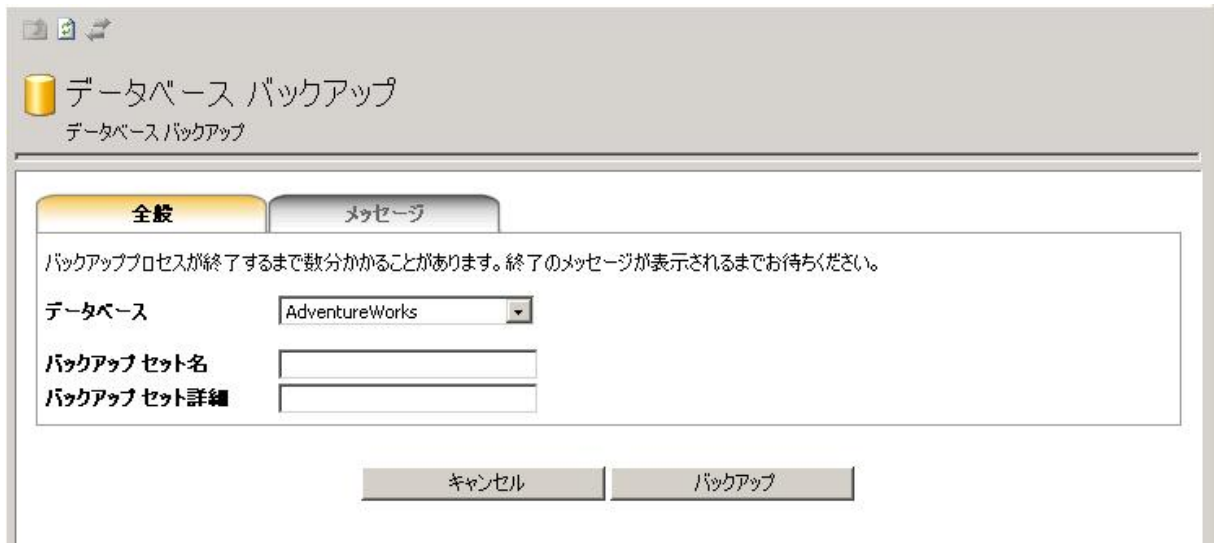
キャンセル データベース復元

このウィザードでバックアップからデータベースを復元できます。

- ➔ **データベース:** 復元したいデータベースを選択するか新規データベース名を入力します。
- ➔ **復元用のソース:** 復元に使用するバックアップデバイスを選択するか、.bakファイルへの完全パスを入力してください。
- ➔ **位置:** ボリューム内でのバックアップセットの位置を指定します。

**注意:** 復元しようとしているデータベースが存在しない場合、ユーザーは `RESTORE` ステートメントを実行するために `CREATE DATABASE` の権限が必要になります。復元しようとしているデータベースが存在する場合、`RESTORE` 実行権限は、固定サーバーロールである `sysadmin` と `dbcreator` のメンバー、そしてデータベース所有者(`dbo`)にデフォルトで設定されます。

## 6.6. バックアップ ウィザード(ホスティング向け)



**特記:** このウィザードは Web ホスティング業者向けに開発したものです。利用設定の詳細は **“Installation and Configuration Guide”** をご覧下さい。

このウィザードでデータベースのバックアップを作成し、エンドユーザーのローカルコンピューターにダウンロードできます。

- ➡ **データベース:** バックアップするデータベースを選択します。
- ➡ **バックアップセット名:** バックアップセット名を入力します。
- ➡ **バックアップセット詳細:** バックアップセットの詳細を入力します。

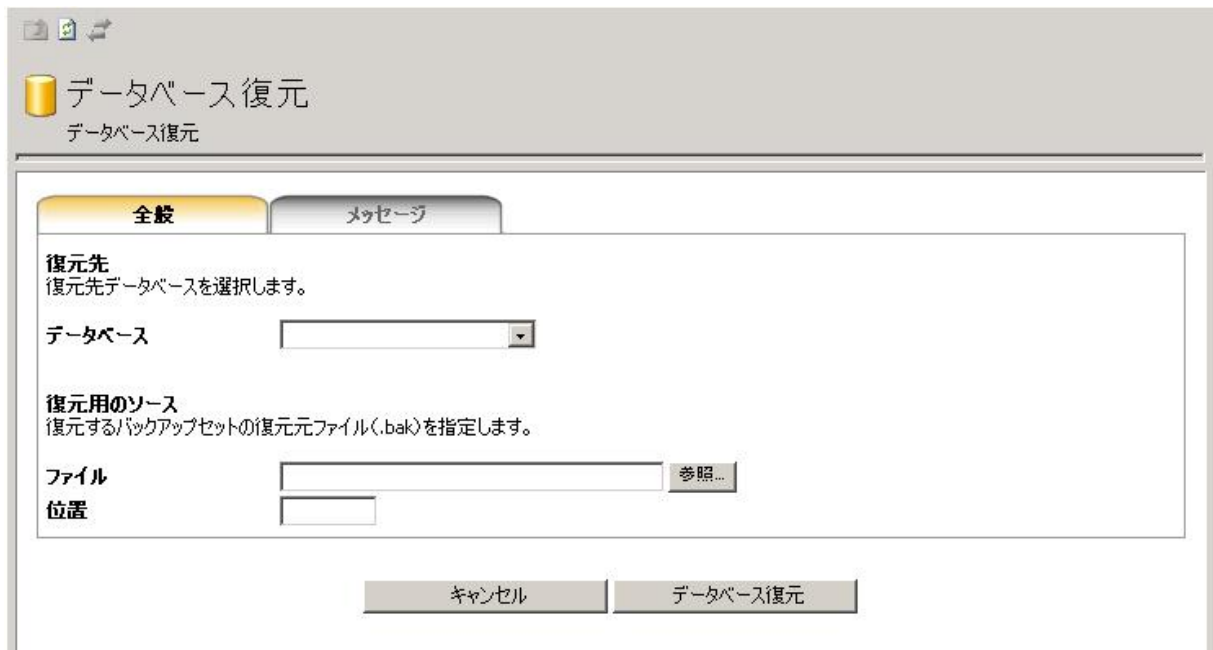
バックアップが実行され完了後、作成されたバックアップファイルをダウンロードするためのハイパーリンクが表示されます。



**注意:** このウィザードを実行するには、ユーザーは sysadmin サーバーロールまたは db\_owner / db\_backupoperator データベースロールのメンバーでなければなりません。

**注意:** バックアップ処理はデータベースサイズなどにより 5 分以上かかる場合があります。終了のメッセージが出るまでお待ちください。

## 6.7. 復元 ウィザード(ホスティング向け)



**特記:** このウィザードは Web ホスティング業者向けに開発したものです。利用設定の詳細は“[Installation and Configuration Guide](#)”をご覧ください。

このウィザードでユーザーエンドのローカルコンピューターに保存したバックアップファイルを復元できます。

- ➔ **データベース:** 復元するデータベースを選択します。
- ➔ **復元用のソース:** 復元するバックアップセットの復元元ファイル(.bak)を指定します。
- ➔ **位置:** バックアップセットのボリューム内での位置を指定します。

**注意:** バックアップファイルの大きさにより、アップロード/復元のプロセスは非常に長くなる事があります。終了のメッセージが出るまでお待ちください。

**注意:** 既存のデータはすべて上書きされます。

**注意:** RESTORE 権限は、固定サーバーロールの **sysadmin** と **dbcreator** のメンバー、そしてデータベース所有者(dbowner)にデフォルトで設定されます。

## 6.8. デタッチ ウィザード

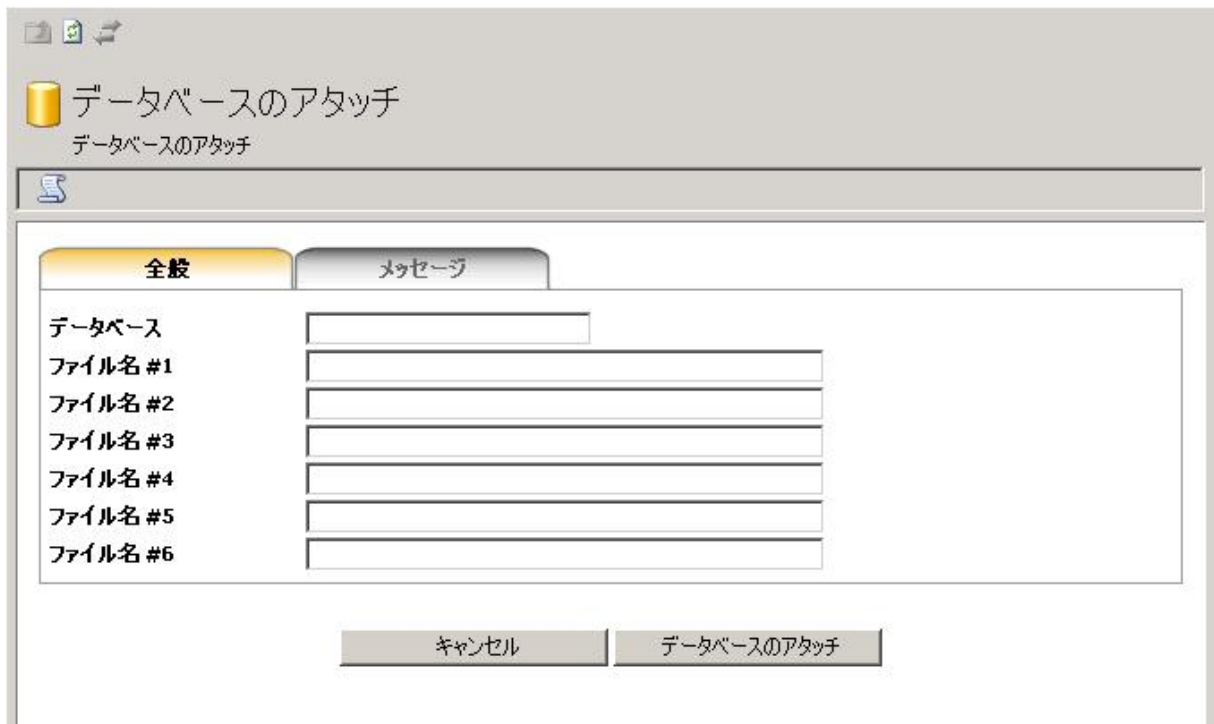


このウィザードでデータベースをデタッチできます。

- ➔ **データベース:** デタッチするデータベースを選択します。
- ➔ **接続の削除:** デタッチ前にデータベースへの接続を切断します。
- ➔ **統計の更新:** データベースのデタッチ前に最適化統計情報を最新状態に更新します。
- ➔ **フルテキスト カatalogの保持:** データベースに関連付けされたフルテキストカタログを保持します。

**注意:** このウィザードを使用するには、ユーザーはデータベースロールの `db_owner` メンバーでなければなりません。

## 6.9. アタッチ ウィザード



データベースのアタッチ

データベースのアタッチ

全般      メッセージ

データベース

ファイル名 #1

ファイル名 #2

ファイル名 #3

ファイル名 #4

ファイル名 #5

ファイル名 #6

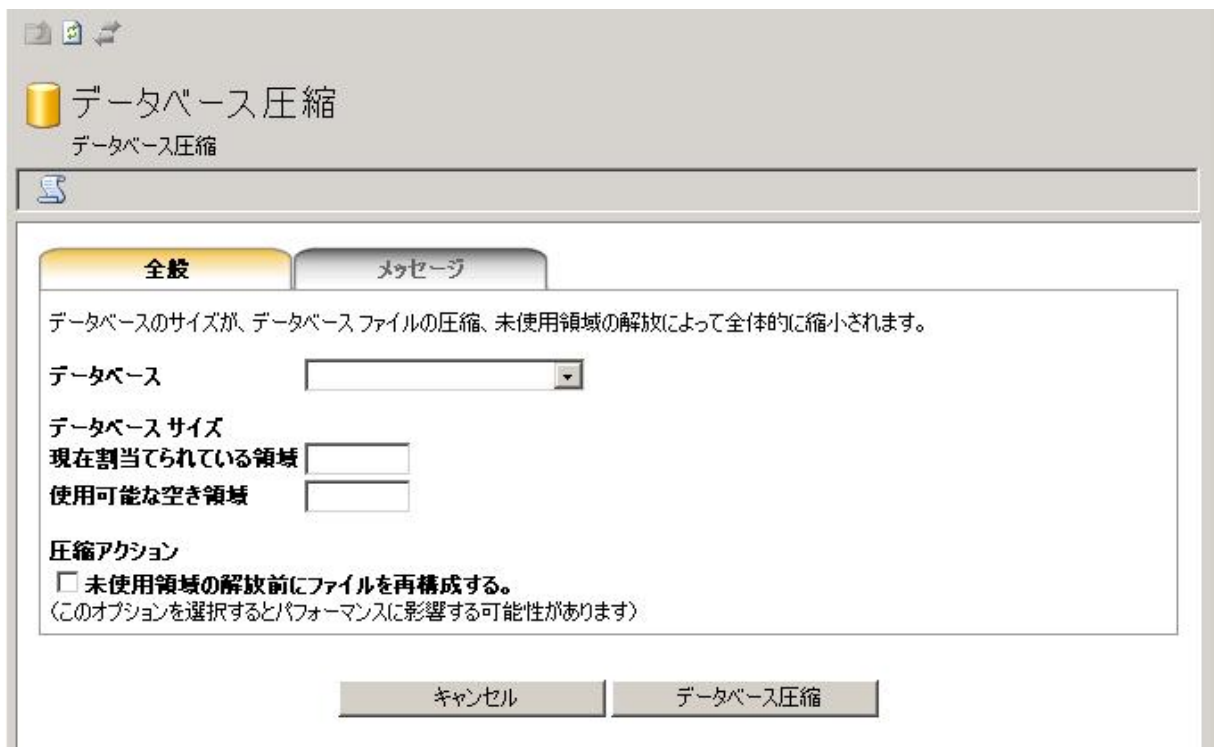
キャンセル      データベースのアタッチ

このウィザードでデータベースをアタッチできます。

- ➡ **データベース:** アタッチするデータベース名を入力します。
- ➡ **ファイル名 #*n*:** MDF ファイルへのパスとファイル名を入力します。

**注意:** このウィザードを使用するには、ユーザーは **CREATE DATABASE**、**CREATE ANY DATABASE** または **ALTER ANY DATABASE** の権限が必要です。

## 6.10. データベース圧縮



このウィザードでデータベースを圧縮できます。

- ➔ **データベース:** 圧縮するデータベースを選択します。
- ➔ **現在割り当てられている領域:** 選択したデータベースに割り当てられている領域 (使用済 + 未使用) を表示します。
- ➔ **使用可能な空き領域:** 選択したデータベースのログファイルとデータファイル内の空き領域の合計を表示します。
- ➔ **未使用領域の解放前にファイルを再構成する:** このオプションを選択すると、指定のパーセント値で DBCC SHRINKDATABASE を実行する事と同等になります。このオプションを選択しない場合、DBCC SHRINKDATABASE を TRUNCATEONLY オプションで実行することと同等になります。既定では、このデータベース圧縮ダイアログが開いたとき、選択されていません。このオプションを選択した場合、希望するパーセント値を指定しなければなりません。

**注意:** このウィザードを使用するには、ユーザーはサーバーロールの **sysadmin** メンバーか、データベースロールの **db\_owner** でなければなりません。



## 6.11. パスワード変更



パスワード変更  
パスワード変更

全般      メッセージ

名前      sa  
古いパスワード      \*\*\*\*\*  
新しいパスワード      \*\*\*\*\*  
パスワードの確認入力      \*\*\*\*\*

キャンセル      変更

このウィザードでパスワードを変更できます。

- ➔ **名前:** 現在のログイン名を表示します。
- ➔ **古いパスワード:** 現在のパスワードを入力してください。
- ➔ **新しいパスワード:** 新しいパスワードを入力します。
- ➔ **パスワードの確認入力:** 新しいパスワードを再入力します。